

会 議 事 録

				記録者	教育総務課主事 福智	
供 覧	教育長	部長	課長	補佐	主査・係長	G員
件 名	令和4年度第2回龍ヶ崎市総合教育会議					
日 時	令和4年11月16日（水） 午後1時20分から午後2時10分まで					
場 所	市役所5階全員協議会室					
主 宰	萩原 勇 市長					
出席者	萩原市長，大古教育長，斎藤教育長職務代理者，野中委員，山崎委員，膳法委員 木村市長公室長，岡野企画課長，名島教育総務課長，国松文化・生涯学習課長，本橋指導課長，千葉教育センター所長，岩井学校給食センター所長，関ヶ原教育総務課長補佐，石山教育総務課主幹，記録者					
欠席者	なし					
傍 聴	1人					
議 題	1 開 会 2 市長挨拶 3 議 題 第2次龍ヶ崎市教育プラン（案）について 4 閉 会					
情報公開	公 開	非公開（一部公開を含む）とする理由		(龍ヶ崎市情報公開条例9条 号該当)		
	部分公開	公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）		年 月 日		
	非 公 開					

企画課長	皆さんこんにちは。 定刻となりましたので、ただ今より、令和4年度第2回龍ヶ崎市総合教育会議を開催いたします。 今回の総合教育会議を開催するに当たりまして、会議を傍聴したい旨、1名の方から申出がございました。 当会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定により、原則公開で行うとされておりますことから、これを許可しておりますので、よろしくお願いいたします。 傍聴される方をお願いを申し上げます。会議中は、御静粛をお願いいたします。 それでは、開会に当たりまして、萩原市長が御挨拶を申し上げます。
萩原市長	教育委員会の皆様、本日御多忙の中、龍ヶ崎市総合教育会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。 また、本市の教育の発展のため、皆様には日頃より御尽力をいただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。 さて、去る10月22日、大昭ホール龍ヶ崎にて開催されました、龍ヶ崎中学校開校記念式に出席してまいりました。 式では、私から龍ヶ崎中学校の古島校長先生に、新しい校旗を授与させていただきました。 また、全校生徒の合唱により、完成したばかりの校歌を聴かせていただきました。 全く校風が異なる愛宕中学校と城南中学校が統合して誕生した新生「龍ヶ崎中学校」ですが、生徒たちの生き生きとした表情を見て、順調なスタートを切っていることを実感いたしました。 先日、全て茨城県産の食材を使った給食献立ということで「いばっぺごはんの日」をやらせていただきまして、一緒に給食は食べられなかったのですが、中学校に行って給食を食べて、その後、各教室を回らせていただいて、子どもたちから大変好評な声をいただき、子どもたちからもたくさんの質問があり、本当に良い子どもたちがいっぱいいるなど感じた次第でございます。 今年度中にもう1回やらせていただくのですが、そういった取組を通して子どもたちに茨城の魅力を教えていきたいと思っております。 このような学校行事が、感染症対策を含め、様々な工夫を凝らしながら行われるようになってきました。 通常の授業はもとより、様々な学校行事や活動を通じて、子どもたちは成長していくものと思っております。 保護者の皆さんにとっても、子どもたちの学校での様子を見ることは貴重な機会であり、学校における教育活動への理解や信頼につながるのではないのでしょうか。 このコロナ禍において、現場の先生方が様々な対応に苦慮しながらも、子どもたちの活躍の場を提供していただいていることに、改めて敬意を表したいと思います。 新型コロナウイルス感染症は、第8波に入ったとも言われております。引き続き厳しい状況が続きますが、子どもたちの学びの保障に向けて、市としても最大限の支援を継続してまいりたいと考えております。 早いもので、私が市長に就任してから10か月が経過し、本年も残すところ1か月半となりました。 市では、来年度の予算編成作業が始まっております。

	市長に就任した際の私の思い、「龍ヶ崎市の新時代」を切り開くため、そして、来年1月からスタートします、本市の次期最上位計画「龍ヶ崎未来創造ビジョン For2030」の着実な遂行に向けた予算編成としてまいりたいと考えております。 さて、本日の総合教育会議ですが、前回に引き続き「第2次龍ヶ崎市教育プラン」を議題として、取り上げさせていただきました。 本年度中の策定を目指す同プランですが、12月には計画案の内容を公表し、市民の皆さんから御意見を募集するパブリックコメントを実施する予定となっております。 本日は、計画案について忌憚のない御意見を賜り、より良い計画としてまいりたいと考えておりますので、皆様の御協力をお願いしたいと思います。 最後になりますが、この総合教育会議における活発な議論が本市の教育の更なる発展につながることを期待して、私の挨拶とさせていただきます。 本日は、よろしくお願いいたします。
企画課長	ありがとうございました。 それでは、早速議事の方に入りたいと思います。 議事の進行につきましては、総合教育会議の主宰者である、萩原市長にお願いしたいと思います。 萩原市長、よろしくお願いいたします。
萩原市長	はい。それでは、総合教育会議の議事進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。 本日の会議時間については、午後2時15分の終了を予定しておりますので、委員の皆様には、会議の円滑な進行につきましても、併せて御協力をお願いいたします。 それでは、会議次第に基づき議事を進めてまいります。 本日の議題「第2次龍ヶ崎市教育プラン（案）について」、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	（資料に基づき説明）
萩原市長	ただ今、事務局から説明がございました。 この件につきまして、委員の皆様から御意見、御提案等をいただければと思いますが、いかがでしょうか。
野中委員	質問なのですが、43ページの児童生徒の不登校解消率というのは、もしも100人の不登校の児童生徒がいれば、30%とすると30人が解消されたという意味合いでよろしいでしょうか。
教育センター所長	はい。そのとおりでございます。
野中委員	差し支えなければ、不登校の児童生徒の大まかな人数は教えていただけますでしょうか。
教育センター所長	年度末に文部科学省の「問題行動等調査」において数値を全て出しますので、年度の終わりには報告できると思います。

斎藤職務代理者	この目標値は 2026 年度ということなのですが、毎年のように数値の経過について調査はされていくんですか。 どうなっているのでしょうか。
教育総務課長	教育プランの内容については、毎年「教育委員会の事務に関する点検評価報告書」を作成し、そちらで報告させていただいております。 また、その点検評価報告書は議員の皆様にもお配りしたり、ホームページにも掲載したりしているところです。
斎藤職務代理者	目標がこうやって出されているわけですから、やはりある程度チェックをしていかなければならないと思います。 数値が落ち込んできたら、それを改善していくという対策は、常にやっていく必要があると思います。 私は、体力とかそういったことがいつでも気になるのですが、今回、肥満傾向にある児童生徒の割合で児童が 8 %、生徒は 10 %が目標値にはなっているけれども、少しでも減らしていく努力をしていく。逆に増えないようにすることが大事なのだらうと思います。 これに限らず、是非経過を見つめていってほしいし、それが学校の方で少しずつ施策につながればいいかなと思っている次第です。
教育総務課長	先ほどの件で補足いたします。お配りしております「第 2 次龍ヶ崎市教育プラン（案）」の 57 ページを御覧ください。 こちらに「本プランに基づく取組の結果については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づいて、毎年度作成します」ということで、教育に関して学識経験を有する方々の知見の活用を図りまして、市議会の方にも提出させていただいているところです。
膳法委員	最上位計画の目標値がこうだからとか、コロナ禍で低下したのでそれをコロナ前に戻すというような目標値は分かるのですが、そうじゃない場合に例えば、「子どもたちの健全育成」の 1 番の「児童生徒の市内一斉清掃活動への参加率」を 1 ポイント上昇を目指すという理由が、あまり具体的じゃないのかなというふうに思うのですが、その辺りはどうして目標値が 1 ポイント上昇と設定されているのかというのを教えていただければと思います。 また、それにこだわらないのですが、最上位計画とかコロナ前の数値に戻したいということ以外の理由が、なぜその数値なのかというところで、具体的にどれというわけじゃないんですけども、1 ポイントとか 5 ポイントとかそういうことが書いてあるところについては、なぜその数値が目標値として設定されているか分かれば教えていただきたいです。
市長公室長	基本的に最上位計画というような大きな計画ですと、満足度指標だと大体 5 年間で 5 ポイントアップとか、そういう決まりで計画づくりはやっていくんですけども、90 %、ものによっては 80 %で今回は抑えているものもあるんですけども、高いものについてはそのまま維持ということで計画を作っていくんですが、今回の場合は 3 時点で数値を取っているにもかかわらず、この清掃に関してはコロナで一度実施していない部分もありまして、18 %から 29 %に上がっていて、じゃあ次はコロナがなく、この清掃活動を行っていたら、もしかしたら四十数%に上がっているなんていうことは、なかなか見づらいものがあるものですから、それであれば直近で一番取られている数値の 29 %で、き

野中委員	りのよい数値で 30%と設定したという考え方だと思います。 コロナ前の値とか、コロナ後の値とか、大体一番良いところに数値を設定していると思うんですけども、目標はとても不思議なものでコロナ前の数字というのが目指している数字だったのか、本当はその数値の上に目標とする数字があるものなのか。 それによってはひょっとすると、コロナ前の数字が良いんじゃないくて、もっと上のところにあっても良いのか、それとももっと下にあっても良いのかという数字がひょっとすると出てくるのかなと思います。 学力の方だけでいくと、35 ページの「茨城県学力診断テストの県平均を上回っている児童生徒の割合」については、これは恐らくコロナ前であろうがコロナ後であろうが平均なので変わっていかない数字なのかなと思うのですけれども、コロナ前の 2018 年度でも 1 回数値が下がっていて、ほぼコロナ後は維持されていて、コロナ前の数字に戻すというところになるのですけれども、そうすると龍ヶ崎市では 50%ぐらいのところ为目标値になるのか、ひょっとすると 60%を目標値にしても良かったのかなとか、そういうふうに考えたりもするのですけれども、やはり基本としては、この数値の一番良いところに合わせるというのが目標値なのかどうかというのをお聞きしたいです。
指導課長	御質問ありがとうございます。 テストのことに関してなのですが、現状とすると、テストの内容は毎年同じものではないということです。 35 ページのところで 2018 年度、2021 年度と児童のこの項目が下がっているように見えますけれども、こちらは問題の傾向とすると、筆記の内容がかなり増えてきているというところもあって、委員がおっしゃるように平均だけでは計れないところがございます。 ただし、今回そういうところも勘案しながら、目指すところはコロナ禍前というよりは、前年度よりも 3 ポイント程度上昇させることを目標として、今回 51%というふうに 35 ページでは数値を設定させていただいています。 ですから、表記的には 2018 年度のベース値に戻すという表記になっているところもありますが、学力に関してはそのようなところで意図しているところがあります。
膳法委員	野中委員の話の続きなのですが、この数値は県平均を上回っている人の割合なので、問題が難しくなったら難しくなったなりにパーセンテージが動かないのが普通なのかなと思ったのですが、この数値の出し方もそういう意味で難しくなればなったで、できていけば平均は変わらないのかなというふうに思ったのですが、その点についてはいかがでしょうか。
指導課長	それはおっしゃるとおりです。私の説明が間違いでした。 点数だけで言うとそういうところなんですけれども、目標とすると県平均を上回る割合というところで、2015 年度、2021 年度のベース値と書いてあるとおりになっています。 大変失礼しました。申し訳ありません。
大古教育長	今のベース値の話なのですが、恐らく各年度のベース値の中で上位の数値に合わせたようなところがあるのですが、自分たちで設定してはばかれるのですが、2026 年度にこれだけの数値を残したとしたら県でも

	トップレベルの市かなという状況になると思うんですね。 よく言われているのは、二極化しているということで、上位の点数を取る子となかなか難しい子、中間層がないという本市の特徴がある中で、上位が多ければ多いほど引っ張り上げるんでしょうけれども、分布がどうかというのも非常に気になることです。 その辺りを精査すればよかったかなという反省もしながら見ているのですが、もう一度検討した方がよいのかなと思います。 これは、かなりのトップレベルになるかと思います。
萩原市長	少しお聞きしたいのですが、コロナで結構休むことが多くなったり、オンライン授業とかが結構増えたりして、小中学校はオンライン授業はやっていないんですか。
大古教育長	今年に入ってから休校措置を取っているというのは、学級閉鎖くらいなのですが、オンラインで授業を受けることもできます。 先ほど不登校の話もありましたけれども、不登校の子も家でその配信を見られるように、また、学校に登校していても教室に入れない子たちへの授業配信も同時にやりながら、授業を進行しているのが現状です。
萩原市長	オンラインでやると、やはり寝ている子とか、そのような話もよく聞いたりするのですが、やはり現状としては、結構学力は落ち込んできているんですか。
大古教育長	始まった当初から比べると、最初は一方向的な配信だったんですけども、今では双方向型の授業になり、児童生徒の意見を表出してもらって集計したりとか、類型化したりしながら授業ができるようにシステムを整えていただいたんですけども、カメラを切ってしまうとどういう状況で授業を受けているか分からないことがあって、しばらく席を外していることも昨年始めはありました。 オンライン授業の受け方の指導もしていかなければならないんですけども、一方で御自宅に保護者がいる方は、隣に付きっきりで御支援いただいているというところもあるので、そういうふうな差はいろいろあるかなというふうに見ておりました。 ただ、小学校の授業だと 45 分の授業ですけども、45 分ずっと画面を見ているということは非常に子どもの目にとっては良くないので、大体 30 分くらいが授業、残りの 15 分くらいは自分のワークに取り組むというようなことを検討して、1 日ずっと画面を見ているわけじゃなくて、途中で授業を抜いたり、午前中で終わりにしたりという工夫をしながらやっているの、学校に来て対面で授業をする内容と比べて、そこまでのレベルまで持っていくというのは、オンラインではまだまだ難しいところがあるかなと思っております。
萩原市長	他にございますか。 他に無いようでしたら、本日の議事は以上となります。 委員の皆様から貴重な御意見をいただきまして、誠にありがとうございます。 本日の協議を踏まえまして、次期教育プランの策定を進めてまいりたいと思います。 それでは、これをもちまして、私の議事進行の役目を解かせていただきたいと思います。

企画課長	と思います。 委員の皆様には、円滑な会議の運営に御協力いただき、ありがとうございました。 皆様、本日は、大変お疲れさまでした。 以上をもちまして、本日の会議を閉会とさせていただきます。 御協力ありがとうございました。
--------------------	--